

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 化学物質等の名称 | ノックスドール 1100 黒 |
| 会社名 | 株式会社創新 |
| 住所 | 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階 |
| 電話番号 | 03-3918-3100 |
| Fax.番号 | 03-3918-3511 |
| 推奨用途および使用上の制限 | アンダーコート防錆剤 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|-----------------|-----|
| 物理化学的危険 | GHS分類に該当する項目はない | |
| 健康に対する有害性 | GHS分類に該当する項目はない | |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性(短期間) | 区分2 |
| | 水生環境有害性(長期間) | 区分2 |

シンボル

注意喚起語
危険有害性情報

なし
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

| | |
|------|--|
| 安全対策 | ・環境への放出を避けること。 |
| 応急措置 | ・漏出物を回収すること。 |
| 保管 | — |
| 廃棄 | ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。 |

3. 組織・成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

| 化学名または一般名 | 濃度 (%) | CAS番号 | 化審法 公示番号 | 安衛法(閾値) | | PRTR法 | 毒劇法 |
|-----------|--------|------------|--------------|---------|-------|-------|-------|
| | | | | 表示 | 通知 | | |
| リン酸三亜鉛 | <15% | 7779-90-0 | 1-526、1-1181 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 水 | 25-45% | 7732-18-5 | 対象外 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| 充填剤 | 25-30% | 非開示 | 非開示 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| タルク | 20-25% | 14807-96-6 | 対象外 | 非該当 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| アンモニア水 | <0.1% | 1336-21-6 | 1-314 | 非該当*1 | 非該当*2 | 非該当 | 非該当*3 |

*1 2016年6月1日改正安衛法施行後対象、0.2%未満は非該当、*2 0.1%未満は非該当、*3 10%以下は非該当

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、または取り除く。 皮膚を石鹸と多量の流水またはシャワーで洗う。 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。 |
| 眼に入った場合 | 水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場 |

飲み込んだ場合
 合は外す。
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。
 水で口の中をよくすすぐ。
 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末消火剤、散水、泡消火剤
 使ってはならない消火剤 棒状注水
 特有の危険有害性 本品自体は引火性ではなく、水が蒸発するまで燃焼しない。
 特有の消火方法 消火作業は可能な限り風上から行う。
 本品は可燃性物質ではあるが、引火性ではない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
 保護具および緊急措置
 環境に対する注意事項 流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。
 回収・中和 水で洗浄する。
 封じ込め及び浄化の方法・機材 適切な吸収剤で吸着させ適切な廃棄設備で処理する。
 二次災害の防止策 漏出物でのスリップに注意する。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 安全取扱い注意事項 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の適切な保護具を着用する。
 取扱い後に手、顔等をよく洗う。
 保管
 保管条件 凍結させないこと。2℃～30℃で保管する。
 容器包装材料 オリジナル容器の使用を推奨。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 未設定
 (作業環境評価基準)
 許容濃度 日本産業衛生学会 ACGIH(TWA)
 タルク(吸入性粉塵) 0.5mg/m³(第一種粉塵として) 2mg/m³
 タルク(総粉塵) 2mg/m³(第一種粉塵として) —
 保護具
 呼吸器の保護具 通常は必要としない。飛散の恐れのある作業では防塵マスクを着用する。
 手の保護具 直接接触や飛沫の恐れがある場合、保護手袋を使用する。作業に適した作業用手袋を着用する。
 眼の保護具 飛散の恐れのある作業ではゴーグルタイプの保護眼鏡を着用する。
 皮膚及び身体の保護具 必要に応じ長袖保護服、保護長靴を着用する。
 衛生対策 通常の衛生基準を遵守する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など 粘稠性物質、黒色
 臭い 弱いアンモニア臭
 pH —
 融点・凝固点 —
 沸点、沸騰範囲 —
 引火点 >100℃
 燃焼範囲 下限・上限 情報なし

| | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 蒸気圧 | 情報なし |
| 蒸気密度(空気=1) | 情報なし |
| 比重(密度) | 1,250~1,310kg/m ³ (20°C) |
| 溶解度 | |
| 水 | 可溶 |
| 有機溶剤 | 通常の溶媒に不溶 |
| n-オクタノール/水分分配係数 | 情報なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|----------------------------|
| 安定性 | 通常の使用、保管条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 危険な反応は知られていない。 |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 特に知見はない。 |
| 危険有害な分解生成物 | 通常の条件下で予想される危険有害な分解生成物はない。 |

11. 有害性情報

成分の有害性情報

| | |
|-----------------|--|
| 急性毒性 | |
| 経口 | リン酸三亜鉛 ラット経口 LD ₅₀ >5000mg/kg |
| 潜在的な急性影響 | |
| 吸入 | 高濃度の場合：不快 |
| 皮膚接触 | 長期的な皮膚接触は皮膚刺激性を起こす可能性がある。 |
| 眼への接触 | 不快感を引き起こす可能性がある。 |
| 飲み込んだ場合 | 高濃度の場合：不快 |
| 遅延性影響／反復ばく露 | |
| 慢性影響 | 情報なし |
| 発がん性、変異原性又は生殖毒性 | |
| 発がん性 | 発がん性の危険性は示されていない。 |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし |
| 催奇形性 | データ不足 |
| 生殖毒性 | データなし |

12. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

| | |
|---------|--|
| 生態毒性 | |
| 急性・魚類 | リン酸三亜鉛 ニジマス 96時間LC50 >0.14mgZn/L アンモニア 96時間 LC50 >0.024mg/L |
| 急性・甲殻類 | リン酸三亜鉛 オオミジンコ 48時間 EC50 >0.136mgZn/L |
| 急性・藻類 | リン酸三亜鉛 藻類(<i>Selenastrum capricornutum</i>) 72時間 EC50>0.04mgZn/L |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--|
| 残余廃棄物 | 廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|------|-------------------|
| 国際規制 | 海上規制情報：IMOの規定に従う。 |
|------|-------------------|

UN No. : 3082
Proper Shipping Name :
ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.

Class : 9
Packing Group : III
海上規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 3082
Proper Shipping Name :
ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.

Class : 9
Packing Group : III
陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。
海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)
航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

国内規制

特別安全対策

緊急時応急措置指針番号

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。
輸送時にはイエローカードを携帯する。

171

15. 適用法令

| | |
|------------|--------|
| 化審法 | 特段規制なし |
| 安衛法 | 非該当 |
| 化管法(PRTR法) | 非該当 |
| 消防法 | 非該当 |

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。